

理念体系とパーパス

三社電機グループは、「経営理念」を最上位に据え、その理念を具体化するかたちで「私たちの志（パーパス）」を策定し、理念体系を構築しています。この体系は、「行動憲章」や「ビジョン」、そして「中期経営計画」へと展開され、すべての事業活動の根幹として機能しています。社会課題の解決と企業の持続的成長を両立させるための価値創造の起点であり、社員一人ひとりの行動を導く指針でもあります。



未来への指針となる

私たちの志
パーパス

当社グループでは、2023年4月に「私たちの志（パーパス）」を策定しました。これは、創業以来大切にしてきた企業文化や経営理念、ミッションを基盤に、さらなる成長とグローバル展開を見据えて、私たちの志を明文化するための重要な取り組みです。

パーパスの原案は、各事業所・部門・子会社から選抜された16名の若手・中堅社員による「MIRAIプロジェクト」メンバーが中心となり、名誉会長や社長へのインタビューを通じて、「これまでの当社」と「これからの当社」という2つの時間軸を基に議論を重ねながら作成しました。その後、社長および各本部長である執行役員との協議を経て内容をブラッシュアップし、最終的に取締役会での審議を経て策定されました。

このパーパスは、中期経営計画の立案にも活かされています。組織全体が一体となってパーパスの達成に取り組むことにより、持続的な成長と競争力の強化、そして社会に対する影響力の向上を目指しています。

パーパス策定後は、全社への浸透と共感の醸成を図るとともに、従業員一人ひとりの事業参加意欲の向上にも注力してきました。当社グループは、今後もパーパスを起点に企業価値のさらなる向上を目指していきます。

「MIRAIプロジェクト」では、浸透策の一つとして、パーパスムービーを制作しました。撮影するシーンや映像の構成、インタビュー内容などをプロジェクト内でアイデアを出し合い、制作していただきました。この機会にぜひ、ご覧ください。

PURPOSE

パワーエレクトロニクスと創造力で、社会を前進させる。

創業以来、私たちは「電気の変換と制御」に向き合ってきました。

これは、これからも変わることはありません。

オンリーワンの技術やサービスにこだわり、

社会を「明るい未来」へ前進させる存在であり続けること。

それが私たちの存在意義であり、志です。

言葉に込めた、私たちの想い

パワーエレクトロニクス

私たちの変わることがない社会の役割、事業領域。
私たちは常にパワーエレクトロニクスと向き合っています。

創造力

私たちは技術の会社ですが、技術者だけでなく、
全ての社員がパーパスを基に活動していきます。
全ての社員が創造性を意識して、オンリーワンにこだわって活動していきます。

社会を前進させる

電源機器とパワー半導体のメーカーとして、
社会がより良い方向に進んでいく源であり、力になっていくこと。
私たちが存在している意義であり、志です。



パーパスムービー

